



ハトダヨ
2022年
9月号

函館市中央図書館だより

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL 35-5500 FAX 35-5525



函館市中央図書館だより

第76号 令和4年9月1日 発行

予約 ランキング

予約数の多い本ランキングを紹介
します。こちらを参考に読みたい
本を探すのも一つの方法です。

令和4年8月20日現在、予約回数の多かった本をご案内しています。

- | | | |
|----|-----------------------|----------|
| 1 | マスカレード・ゲーム | 東野 圭吾／著 |
| 2 | 奇跡 | 林 真理子／著 |
| 3 | 夜に星を放つ | 窪 美澄／著 |
| 4 | 同志少女よ、敵を撃て | 逢坂 冬馬／著 |
| 5 | おいしいごはんが
食べられますように | 高瀬 隼子／著 |
| 6 | 白鳥とコウモリ | 東野 圭吾／著 |
| 7 | もう別れてもいいですか | 垣谷 美雨／著 |
| 8 | 子宝船
きたきた捕物帖 2 | 宮部 みゆき／著 |
| 9 | 燕は戻ってこない | 桐野 夏生／著 |
| 10 | 宙ごはん | 町田 そのこ／著 |

図書館俳句ポスト受賞者

5月俳句ポストへ応募された中から選ばれた
作品です。お題は「薄暑(はくしょ)」。

入選

天窓を見上げる朝や薄暑光

夜蛙の声に驚く新居かな

ささの風熊谷草の母衣ゆらす

佳作

帰省子に空気動きてそこかしこ

水面にぬつと亀浮く薄暑かな

青屋黄緑

安福巖

練合陽子

小野寺礼子

松浦学

<秋の読書週間イベント>

穂村 弘氏 作家講演会

10月8日(土)

14:00~15:30 (開場 13:30)

会場:函館市中央図書館 視聴覚ホール

定員:100名(事前申込による予約が必要です)

◆申込期間◆

2022年9月2日(金)

~9月19日(月)

◆申込方法

当館窓口または電話での受付となります。

(TEL,0138-35-5500)

先着順で受付致しますので、定員になり次第
締め切らせて頂きます。

※詳しくは館内ポスター・チラシをご覧ください。

ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

棚：A22~24
請求記号：953.7ルメ

タイトル：「僕が死んだあの森」

著者：ピエール・ルメートル 出版社：文藝春秋 (2021年5月)

本書は「その女、アレックス」などのミステリーで知られるフランス人作家ピエール・ルメートルの心理サスペンス小説です。主人公は12歳の少年アントワーヌ。ある日、隣家の少年レミをはずみで殺してしまい、森に死体を隠してしまいます。その後、罪が露見する恐怖に苛まれ続けるアントワーヌ。彼にはどんな運命が待ち受けているのか。真相は暴かれていくのか。最後の最後まで緊張感あふれる展開にページをめくる手が止まりません。

棚：A13~15
請求記号：383.837カ

タイトル：「イタリアぐるっと全20州おいしい旅」

著者：奥本 美香 出版社：産業編集センター (2014年7月)

ミラノ在住の著者が、ふとした思い付きからイタリア全20州食べ歩きの旅へと出発。地域ごとの気候風土や食文化を紹介しながら、その土地ならではの“おいしい”を求めてローカルな食堂やカフェを訪ね歩く食レポートです。美しい写真と親しみやすい文章で構成された本書は、どのページから読んでも楽しむことができ、いわゆる観光地ではない“素顔のイタリア”を感じさせてくれます。この秋は、読書で食の王国イタリアを旅してみませんか。

棚：J7~10
請求記号：Eマツ

タイトル：「バスが来ましたよ」

文：由美村 嬉々 絵：松本 春野 出版社：アリス館 (2022年6月)

和歌山市職員の山崎さんは進行性の目の病気にかかり、全盲になりました。不安でいっぱいの中、バス通勤を始めます。ある朝停留所で待っていると、小学生の女の子に声をかけられます。「バスがきましたよ。」

女の子が卒業した後も手助けのバトンは妹やその友達に受け継がれていきます。

この記事を知った作者が絵本化を願い出て実現し、6月に出版されました。

子供たちの純粋なやさしさをぜひ絵本で読んでみてください。

館長随想(六)



9月になりますと、図書館では小学校の授業で図書館を訪れ研修をする総合学習が増えてきます。学校の授業で図書館について学び、実際に図書館に来て、どんな本があるのか、大きさはどれくらいか、訪れる人数は何人ぐらいなのか、働いている人は何人いるか、など質問を受け、実際に図書館内を見て自由読書をするというものです。

中には、図書館に来たことのない子どももいますので、中央館の大きさに驚くこともあります。中央館には、自動貸出機もありますので、実際に体験することもあります。

中央館だけではなく、地区図書室に来ることもあります。地域にある図書室を知るという大切な授業です。

子どもたちは、お目当ての本を見つけて思わず歓声を上げたり、ともだちと相談したりと楽しそうです。図書館内に入る前に、図書館では静かにするお約束を伝えますが、子どものまなび、感動があつて少し賑やかになってしまいうこともあります。どうぞ子どもの成長を見守り、来館する1時間程度の時間、ご理解をいただければ幸いです。

中学生や大学生も体験型の講座を増やせたらいいと考えています。8月に郷土資料の調べ方入門として、大人向けのパスファインダーを作成しました。一般的な調べ方、函館の大火、函館の医療の3枚があります。郷土資料については移転前の図書館の整理方法を受け継いでおり、特殊な部分がありますが、コツをつかむと探しやすくなります。ぜひ参考してみてください。

9月は学生さんの読み聞かせ(乳幼児向け)があります。
函館短大学生による読み聞かせ 9月6日(火) 11時〜

デジタル資料館 紹介



明治十五年七月十五日函館大町平塚時蔵商店新築開店披露広告 (be001044-0001)

西洋雑貨呉服太物商を営んでいた平塚時蔵の商店開店広告です。商人の平塚時蔵は函館の公園・新聞・学校・病院などの公益事業に尽力し、函館四天王と称された一人でした。デジタル資料館では画像を拡大してご覧いただけます。木版刷りによるきれいな色使いもお楽しみください。

ちくとしょしつ ほん 地区図書室で「本ガチャ」をやろう！

本ガチャってなに？

手作りの段ボールガチャの中に数字が書かれた紙が入っています。
出てきた数字で本が決まります！何が当たるかは楽しみ★

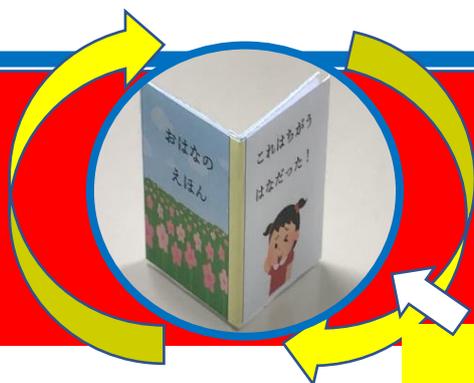
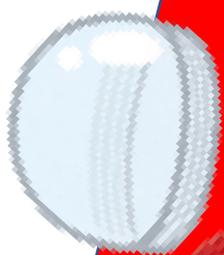
- ①しずか～にくるっと回してね！
- ②出てきた数字を覚えてね！
- ③きみが何才かで本が決まる！

タイプは4つ（0-2才、3-6才、小学1-3年生、小学4-6年生）



子ども限定(小学生まで) 1日1回まで

(大人でもやりたいって人がいるけど我慢してね)



**おまけの豆本
(だいたいホントの大きさ)**

千歳図書室では
おまけの豆本も人気なので
新作作りにも力が入ります。
コンプリートされてしまうのか？！
新しい豆本ができるのか？！

どきどきしながら待っています。

千歳の他にも湯川・港・旭岡でもできるよ！

